

NAEとNRC、国防総省における理数系労働力に関する報告書を発表（10月25日）

米国アカデミー（National Academies）の米国工学アカデミー（National Academy of Engineering：NAE）と米国学術研究会議（National Research Council：NRC）は、国防総省（Department of Defense：DOD）における理数系（science, technology, engineering, and mathematics：STEM）労働力に関する調査報告書「国防総省における優秀な理数系労働力の確保（Assuring the U.S. Department of Defense a Strong Science, Technology, Engineering, and Mathematics（STEM）Workforce）」を共同で発表した。

本報告書によると、DODにとって最大の課題は、重要な職に就く優秀なSTEM専門家の採用と保持で、DODが優秀な人材にとって魅力的な職場となるためには、時間のかかる不明瞭な採用過程を見直すと共に、個人の能力を十分に生かす事のできる技術職や、教育を含めたキャリア開発の機会を提供するべきであると提案している。

さらに、サイバー・セキュリティなど機密性の高い分野においても、優秀な米国以外の国籍保有者にも門戸を開放できるよう、機密取扱人物調査や就労ビザ制度の修正の検討、学位取得後にDODで働くことを条件とした「変革のための科学・数学・研究奨学金制度（Science, Mathematics And Research for Transformation（SMART）scholarship program）」の拡大なども提案している。

なお、本報告書は<https://download.nap.edu/catalog.php?record_id=13467>からダウンロード可能。

The National Academies, DOD Faces Potential Shortfall in Quality STEM Workers; Overhaul of Recruitment Practices, Security Requirements Needed

<http://www8.nationalacademies.org/onpinews/newsitem.aspx?RecordID=13467>